

# 市政に 対する 一般質問

## 〓〓10名の議員が質問〓〓

12月定例会の一般質問は、12月15日及び16日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

**沼倉 昭 仁** 「賑わいづくりのまちづくり」について

**山田 裕 一** 地域活性化策について

**大町 栄 信** 市場跡地再利用について

**水落 孝 子** 就学援助制度について

**四 竈 英 夫** 戸別所得補償モデル事業について

**沼 倉 啓 介** 都市計画の積極的実現によるまちの再生と活性化への取り組みについて

**大 野 栄 光** 農業の崩壊に繋がる環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)参加について

**吉 田 貞 子** 保育園・幼稚園のあり方について

**佐久間 儀 郎** 環境美化の促進について

**管 野 恭 子** 子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌の3ワクチン接種助成の即刻実施を

「賑わいづくりのまちづくり」について  
沼倉 昭 仁

【質問】中心市街地対策として、宮城県も提唱している「コンパクトなまちづくり」の中核となる「街なか居住」の観点からいえば、街なかの居住人口がますます減少している現実をどうしていくかは大きな問題であり、「街なか居住」の問題は、金融・不動産業界を巻き込んだ研究が不可欠なので、行政として早急に取り組まなければならない課題である。こうした現状を踏まえて、「中心市街地の再生」をどのように進めていくのか、お伺いします。

【答弁】【市長】中心市街地の人口減少並びに高齢化、大型店の出店により、中心市街地では空き店舗が増加し、商店経営者自身の高齢化も相まって、商店街の衰退が進んでいると思っている。

特に白石駅前が白石市の顔であり、憂慮すべき問題であろうと思っている。行政としても、商工会議所とともに中心市街地のにぎわいの創出のために、各種イベントを通して集客力の向上を図っている。

の再生については、まずは、交流人口を増やすことが、有効な手段であると思っている。その中で、民間活力の醸成、特色ある商店街の演出、また、尚絅学院大学のメディアフェスタなどに見られるような空き店舗の活用等をさらに進めていくことが大切であると思っている。

狭い地区に集めて、より効率よいという発想の「コンパクトシティ」の中核となる「街なか居住」は本当に大切な事であると思っているが、個人の資産に対して行政の取り組みには限界があることも事実である。その点も御理解を願いたい。

【その他の質問】  
○「産業振興策」について

人口推移を見ると、地方都市が人口を増やしていくというのは、本当に容易ではないと身をもって感じている。そこで、中心市街地